

岩手地方最低賃金審議会第3回専門部会議事要旨

岩手労働局

令和6年8月26日午後1時29分～午後5時6分

○ 主な審議事項〈公開・ 非公開 〉 1 全国の審議状況について 2 金額審議 3 その他	出席状況	公益	3/3
		労側	3/3
		使側	3/3
○ 審議要旨 1 全国の審議状況について 事務局より、全国の審議状況について情報提供された。 2 金額審議 使用者代表委員から金額の再提示がなされた。 それに対し、労働者代表委員からは、今年は特に生計費が注目されている。物価上昇について、高い水準で推移している。実質賃金は上がっているわけではないことを踏まえて、早期に1,000円に達するように、最低賃金の底上げをする必要がある。などの主張があった。 使用者代表委員からは、生計費をあまりに重視すると、それに伴って賃上げに対応できない県北や沿岸地域の商店や小規模事業者が倒産するようなことがあってはならないと考える。などの主張があった。 労使の主張に対する審議が進められたが、労使の提示額の差が大きいため、部会長の提案により公労、公使での話し合いが行われた後に全体会議が行われた。 労働者代表委員及び使用者代表委員から、金額の再々提示がなされた。 3 その他 なし。			